Vol. 01

Hawaii Tokai Ohana Times

2015
6月

Newsletter from HTIC Chancellor's Office

HTIC と保護者のみなさまを結ぶニュースレター。オハナ（Ohana）はハワイ語で「家族」の意味です。
小さな学校ではありますが、家族のようなつながり、ケアを大切にしたいと思っております。

HTOT

カポレイ新キャンパス始動

左側が B 棟（学生寮）です。右側が A 棟教室と管理棟です。中庭にはツツジが植わっています。右側に見える土の部分は芝生を養生中です。夏には鮮やかな緑の芝生となるでしょう！

新都市 Kapolei

かねてからご案内の通り、HTIC は 1990 年より運用してきたホノルルのカピオラニキャンパスから、オアフ島西部の新しい都市カポレイ（Kapolei）に移転しました。新キャンパスは州立大学であるハワイ大学ウェストオアフ校に隣接しており、ハワイ大学機構から土地を購入し、両者の今後の協力関係を視野に入れながら移転計画を進めていたものです。4 月 17 日には関係者を集めてグランドオープニングの式典が開催されました。

旧キャンパスの寮に住んでいた学生たちは 3 月下旬から新しい学内の寮に移動を完了。そして 4 月 13 日には 68 名の新入生が到着し、一気にキャンパスは賑やかになりました。

以前のキャンパスとは全く環境が違い、ハワイ大キャンパスを除けば、歩いて行ける距離にはほとんど何もありません。大学ではシャトルバスを用意し、学外の寮や、近隣のショッピングセンターを結ぶ定期便を運行しています。

キャンパス入り口近辺の道路は狭く、歩道や街灯が無いエリアがあります。日が暮れてからここを歩いたり、自転車で通行するのは極めて危険ですので、夜間の徒歩・自転車での外出は禁止しています。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

カポレイは、ホノルルへの一極集中を解消する目的もあり、オアフ島第 2 の都市となるべく現在急速に開発が進んでいます。ホノルルとカポレイを結ぶハワイ初の鉄道路線の建設も進んでおり、日々高架が延びています。全路線が完成すると、ホノルル中心部からカポレイまでを約 40 分で結びます。新キャンパスは計画されているカポレイ駅から徒歩 10 分以内です。

ハワイは北東貿易風（Trade Wind）の涼しい風がいつも吹いています。日差しは強いのですが、朝夕は涼しく、日陰に入ると日中でも涼しく感じます。カポレイは島の南西にあり、風下（Leeward）にあたります。ハワイ諸島の特徴として、北東貿易風が山に遮られると、風上の地域は多雨となり、風下は少雨乾燥となります。カポレイは典型的な少雨乾燥気候です。キャンパスの周りの山は緑が少なく、ちょっと西部劇のような光景がひろがっていますので、ホノルルとのあまりの違いに戸惑った学生さんも多かったかもしれません。小さな島の中でこれほど劇的に気候が違うのも、ハワイの多様性の面白さの一つです。

ある日のランチ。新キャンパスにはカフェテリアはなく、お隣のハワイ大学のカフェテリアが HTIC のためのメニューを用意しています。土日は HTIC の学生寮にケータリングしてくれます。この日はメキシカン、タコスでした！

学生さんの足、シャトルバスとドライバーのリックさんです。

成績、進路のこと

意外と短い！進路決定までの時間

HTICは1年を4学期に分けたクオーター制（Quarter System）で運営しています。4月から始まる「春学期」は一番入学者がいちばん多い季節です。

新入生は英語のレベルによりクラス分けが行われ、英語クラス（CP: College Preparatory「予科」と呼んでいます）の初級1から最上級5までのレベルで授業が行われます。1学期毎に、次のレベルに進めるかどうかが成績によって決められます。

成績はA～D、点数にするとAが4点、Dが1点です。点数を平均したものがGPA(Grade Point Average)で、この数字を高く保つことが卒業までを通して大変重要です。予科の授業は、卒業後4年制大学に編入学した場合、卒業単位としてはカウントされません。

CPレベル5を修了すると、いよいよ「本科」のLA:Liberal Artsプログラムに入学

が許可されます。ここからが本番と言ってよいでしょう。編入学を目指して、よいGPAをキープするようにがんばって欲しいところです。GPAが低いと、編入希望先から断られることがあります。一度GPAを落とすと、挽回するのは大変です。気を抜いてはいけません。

また、3.7以上のGPAでHTICを卒業すると、Phi Theta Kappaという短大卒業成績優秀者の会に加入することができ、このステータスは、卒業後に入った学校で奨学金を得るときや、履歴書に書ける実績として大変有利になります。

反対に、GPAが1.5以下になると「退学」となりますのでご注意ください。これはこちらの学校としては普通のことで、アメリカの大学が「入るのはやさしく出るのは難しい」と言われる所以です。

今年4月にCP1からスタートして、順調に進んだ場合、LAに入るのが来年の夏学期、LAの卒業には5～6学期かかるのが普通ですが、5学期で卒業の場合、再来年（2017年）の秋が編入学のタイミングになります。卒業まではあっという間です。

卒業後、日本に帰るのか、アメリカや海外の大学に行くのか等、十分ご相談いただきたいと思います。

卒業式は「始まり」

6月27日に日本の卒業式にあたる「コメンスメント（Commencement）がHTICの講堂（Tatsuro Matsumae Auditorium）で開かれます。HTICでは、年に2回コメンスメントを行っています。4学期制のため、実際の卒業の機会は年に4回ありますが、コメンスメントでは「卒業予定者」も含め、いちばん近い卒業時期に合わせて式典を行います。

角帽とガウン（Cap and Gown）を卒業生も教員も着用して、アメリカ式のスタイルです。ちなみに、Commencementの原義は「始まり」という意味です。卒業は新しい人生の始まり、という意味でアメリカではこのように呼ばれています。

毎年日本からも多くの保護者の方もいらっしゃるので、この日はキャンパスはにぎやかになります。次のコメンスメントは12月19日です。

進学状況

HTICでの日々はあっという間に過ぎ、次は卒業後の進路です。HTICを卒業する多くの学生が4年制大学の3年生相当で編入します。

※編入後はHTICで取得した単位の振り替えが編入先大学によって決められますので、あと2年で卒業できるとは限りません。米国大学の卒業単位はほぼ120（学部学科によって多い場合あり）、日本の大学は124です。HTICの卒業必要単位はは60です。

以下は、2013-2014年の編入実績です。

【ハワイ州】
ハワイ大学マノア校＊
ハワイ大学ヒロ校＊
ハワイパシフィック大学＊
シャミナード大学（ホノルル）＊
アーゴシー大学ハワイキャンパス＊

【米国本土】
ウエストヴァージニア大学
オレンジコーストカレッジ
オレゴン大学
カリフォルニア州立大学ロングビーチ校
カリフォルニア州立大学フラトン校
セントジョーンズ大学
ニューヨーク州立大学ストーニーブルック校
フロリダ国際大学
マサチューセッツ芸術大学
ミネソタ州立大学マンケート校＊

【英国】
リッチモンド大学（ロンドン）＊

【日本】
東海大学＊
テンプル大学ジャパンキャンパス＊
駒澤大学

＊印はHTICと編入学協定を締結している大学　※上記の実績の一部には、入学手続中のものも含まれています。

本年度の卒業生の中で4年制大学に編入した割合は約90%でした。これは米国の短大（コミュニティーカレッジ等）の平均（約20%前後）に比べて非常に高い水準です。今後も編入指導に力を入れていきたいと思います。

アメリカの大学制度や編入制度については次号以降で詳しく説明していこうと思います。次号をお楽しみに！

学長より　From Our Chancellor

アロハ・カコウ！（みなさまこんにちは！）

この紙面をお借りしてみなさまにご挨拶できるのは大変うれしいことです。保護者の皆様においては、ぜひ一度新キャンパスに足をお運びいただければ幸いです。

次期学長が決まるまで、暫定的に学長を務めております。これまでは理事の一人として1998年からHTICと関わってきました。学生を常に第一に考える面倒見のよい学校の姿勢には、いつも感銘を受けておりました。それは今も変わらず、ご子女が安全に続けられるよう、よい環境を整備していきたいと思います。この新しいキャンパスで、協力関係にあるハワイ大学ウェストオアフ校との連携も、これからさらに深めていこうと考えています。　エドワード・シュルツ（暫定学長）

Dr. Edward Shultz,
Interim Chancellor

Facebookでも最新情報を発信しています。
「ハワイ東海インターナショナルカレッジ（日本語）」で検索してください。